

3 教育・学習



3-1 生きる力を育む人づくり

3-1-1 学校教育の充実

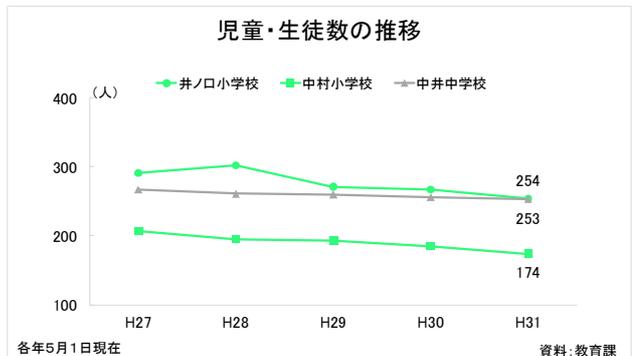
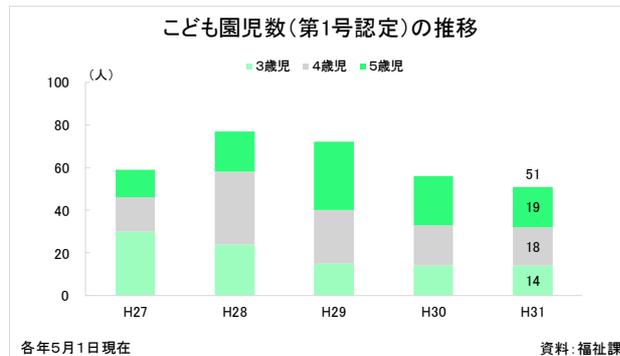
【現況と課題】

少子高齢化、グローバル化、情報化など教育を取り巻く環境が急激に変化する中、複雑多様化した社会情勢に対応するため、新しい理念のもとでの教育のあり方や具体的な教育施策が求められています。

さらに、自立・協働・創造に向けた一人ひとりの主体的な学びを支援するとともに、教育施設の老朽化の対応など教育環境の整備も求められています。

時代を拓き、未来を生き抜く中井っ子の育成のためには、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体からなる「生きる力」を育む教育を進めなければなりません。

そのためには地域の特性を生かした学習環境の整備・充実に取り組む必要があります。



【施策目標】

変化の激しいこれからの社会に必要な「生きる力」を育むとともに、教育的ニーズに応じた環境整備・充実に努め、時代を拓き、未来を生き抜く「中井っ子」を育成します。

3-1-1-1 時代の変化に対応する教育

【施策内容】

こども園、小・中学校と連携した一貫性のある教育を実践し、外国語教育の充実や令和時代の学びを支えるICT[※]及び先端技術を効果的に活用した分かりやすい授業を進めることで、グローバル化や情報化の急激な進展などの新たな時代に対応するために必要な資質・能力を育むことを目指します。また、学習支援者や介助員の配置、国際教室[※]における日本語指導、インクルーシブ教育[※]の推進などにより児童・生徒一人ひとりの円滑な学校生活をサポートするとともに、集団の中でお互いを理解しながら、社会性・思いやりの心を育む環境づくりを目指します。

※ ICT : 【Information and Communication Technology (情報通信技術)】の略。情報や通信に関連する科学技術の総称。

※ 国際教室 : 日本語指導が必要な児童・生徒に対して、日本語の個別指導等を行うもの。

※ インクルーシブ教育 : 障がいの有無にかかわらず「誰もが望めば合理的な配慮のもと地域の普通学級で学ぶ」ということ。

3-1-2 地域とともにある学校づくり

【現況と課題】

こども園、小・中学校が地域住民の信頼に応え、保護者や地域が連携・協働して教育活動を展開するためには、地域と共にある開かれた園・学校づくりを推進する取組が求められており、そのための有効な仕組みであるコミュニティ・スクール[※]の導入が課題となっています。

本町では、学校・家庭・地域が連携・協力し、一体となって子どもたちの健全育成に取り組んでいます。引き続き園・学校運営が保護者や地域に開かれ、評価される取組や地域ボランティアの協力により地域に根ざした学習機会の提供など、地域の持つ教育力を活用した園・学校づくりに努める必要があります。

【施策目標】

保護者や地域住民の力を学校運営に生かすとともに、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決することを目指します。

3-1-2-1 開かれた学校の推進

【施策内容】

教育委員会による広報紙の発行やホームページを活用し、教育活動や教育情報を積極的に発信するとともに、学校評価の充実やコミュニティ・スクールの導入に向けた取組を推進します。

3-1-2-2 地域教育力の活用

【施策内容】

こども園、小・中学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアの活用や協力により学校運営を支援するとともに、自分の育った地域に愛着が持てるように郷土愛を育むため、地域の人材や教育力を活用した体験型環境学習の実践など家庭や地域とともに進める学校づくりを推進します。

3-1-2-3 児童・生徒の安全確保

【施策内容】

定期的な通学路の安全点検、メール配信サービスによる情報発信、地域のボランティアによる児童・生徒の見守り活動など、学校・家庭・地域及び関係機関との連携を強化し、効果的な児童・生徒の安全確保に努めます。

[※]コミュニティ・スクール：学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

3-2 学びあい・教えあいのなかまづくり

3-2-1 生涯学習の推進

【現況と課題】

住民の学習意欲や社会参加意識の高まりを踏まえ、誰もが住み慣れた地域で充実した人生を送るためには、多様なニーズに応じた学習機会やプログラムが求められており、生涯を通じて学ぶことができる環境づくりをさらに進めていく必要があります。

少子高齢化などにより地域コミュニティが希薄になり、地域での生涯学習の場が減少する中で、地域学校協働活動の推進や町民の自主的な活動が促進されるよう効果的な情報提供、ニーズにマッチした柔軟で多様な支援、生涯学習活動の成果（個々の知識、技術、ネットワーク等）をまちづくりに生かせるシステムの構築が求められています。

【施策目標】

「中井町生涯学習基本計画」に基づき、町民が参加しやすい多様な学習機会の提供に努めるとともに、町民同士が学びあい、教えあう仕組みづくりや自主活動などのための拠点の充実に努めます。

3-2-1-1 生涯学習の場の確保

【施策内容】

地域における読書活動やスポーツ活動などの生涯学習活動を促進するとともに、自主活動の拠点となる生涯学習の場の充実に努めることで主体的な学びを支援し、町民が参加しやすく多様なニーズに応じた学習機会・学習環境の提供に努めます。

3-2-1-2 各種学級・講座の充実

【施策内容】

生涯各期にわたり学習機会の提供が行えるよう、公民館等における各種講座や教室のほか出前講座[※]の充実に努めます。

また、子どもたちの学力向上や多様な体験機会の充実に努めるため、地域の人材の協力を得て土曜学習事業の実施など、放課後の子どもの居場所づくりを推進します。

3-2-1-3 学習支援体制の充実

【施策内容】

地域の人材や資源の発掘・活用に努めるとともに、地域への情報提供や相談体制の充実、活動場所の提供、物品貸出等の活動支援により、引き続き地域における主体的な学習活動を支援します。

また、学習の成果である個々の能力や地域の連帯力を「地域」や「まちづくり」に活用できる仕組みづくりに取り組みます。

※出前講座：町民の集会等で、町職員が町の取組や暮らしに役立つ情報などを伝える場。

3-2-1-4 世代間交流の促進

【施策内容】

各種イベント・教室において、多世代が参加しやすい企画を提供するとともに、各種団体などの人材を生かした交流の場の提供とその活動を支援することで、世代の異なる地域住民が交流し家庭や子育ての意義を深めていく活動を促進します。



中井っ子全員集合

3-2-2 生涯スポーツの推進

【現況と課題】

少子高齢化により子どもたちのスポーツへの関わりや地域でのスポーツ活動が減少傾向にある中、より多くの人々が各種スポーツ活動に関われるような取組や健康づくり・体力づくりのためにスポーツへの関心を高めてもらうことが必要です。

また、町民の多様なニーズに対応するため、魅力あるスポーツイベントや総合型地域スポーツクラブの設立などにより、気軽にスポーツを楽しみ、交流の輪が広がるようなスポーツ振興が求められていることから、「中井町スポーツ推進計画」に基づき各種事業を計画的に推進し、多くの人々が親しむことのできるスポーツ環境の充実を図り、地域の活性化や交流人口・関係人口の増加を促進する必要があります。

【施策目標】

老若男女や障がいの有無に関わらず、誰もが親しめるニュースポーツの普及やスポーツ環境の整備・充実に努めることで、町民のスポーツへの自主的な参加とスポーツを通じた地域コミュニティの形成や健康の保持増進、地域活性化を促進します。

3-2-2-1 生涯スポーツの振興

【施策内容】

スポーツを通じて多くの人々がいつまでも心身ともに健やかな生活を送ることができるようスポーツ推進委員と連携し、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントを継続して開催します。また、身近な地域におけるスポーツの振興を図るため、地域活動振興員による自治会活動やスポーツ協会の活動の支援を継続します。

3-2-2-2 スポーツを通じた交流

【施策内容】

誰もがスポーツを通じてふれあい、交流を図ることができる機会を創出するとともに、町の特性を生かした特色あるスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた仲間づくりを支援するとともに関係人口の増加を図り、地域の活性化を促進します。

3-2-2-3 スポーツ環境の整備・充実

【施策内容】

公園施設や学校施設など地域住民のスポーツ活動の場の適正な維持管理・運営に努めるとともに、広域相互利用の充実を図ります。また、いつでも誰でも気軽にスポーツに参加できる総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を進めます。

3-2-3 青少年の健全育成

【現況と課題】

青少年支援・指導者育成機能を有効に発揮できるようにするため、青少年指導員・県・各機関との連携体制の強化が求められています。

また、青少年自身が積極的に社会的自立を図るために、家庭や地域において、同世代間、異世代間との交流の機会や青少年の多様な体験学習を促進するために必要な環境づくりが必要です。

本町では、各地域の青少年指導員を中心として青少年の交流事業、非行防止対策、青少年リーダーの育成などに取り組んでいますが、少子化に伴い地域組織が縮小する中、活動機会の創意工夫や青少年活動を支援する人材の確保が課題となっています。

【施策目標】

学校・家庭・地域との連携を図りながら、引き続き青少年の社会参加及び体験学習の機会の提供に努めることで、地域ぐるみの青少年の健全育成を促進します。

3-2-3-1 地域ぐるみでの青少年の育成活動

【施策内容】

小学生を対象とした青少年ふれあい交流事業や中学生を対象とした広域交流洋上体験・キャンプ等の活動を通じて、地域の将来を担うリーダーの育成を図るとともに、関係団体の青少年健全育成活動への支援に努めます。

3-2-3-2 青少年の社会参加活動

【施策内容】

中学生ボランティア活動や地元企業の見学などを通じて、社会貢献や社会参加について理解を深める機会を提供し、地域社会の一員としての自覚を養うことで、青少年の社会参加を促進します。

3-2-3-3 青少年の非行防止対策

【施策内容】

青少年育成のつどいや※青少年指導員による夜間パトロールを継続実施するとともに、青少年問題協議会等を通じて関係機関との連携を強化しながら、地域環境浄化や啓発活動の推進を図り、非行防止対策を促進します。

※青少年育成のつどい：地域ぐるみで青少年の健全育成を図るため、心豊かな青少年の育成を考える場として、講演会などを開催するもの。

3-3 文化を育むまちづくり

3-3-1 文化のまちづくり

【現況と課題】

小・中学生に芸術や文化に接する機会の提供を継続することにより、若い世代の感性を磨き創造性を育むとともに、心豊かな青少年の育成に努めています。

町民文化祭や公民館まつりなど継続的に活動成果の発表の場を提供することにより、文化芸術活動の振興を図るとともに、各種教室や講座の開催により、町民個々の文化活動を促進しています。

町内には約100のサークル・団体等があり、各種の文化活動が行われていますが、近年は少子高齢化に伴う会員の減少や活動の縮小化などの課題があります。

【施策目標】

各種団体等の支援や人材育成を含めた環境整備、文化活動の発表の場の提供、広報紙やSNSなどにより多世代に向け情報発信することで、町民全体の文化活動を促進します。

3-3-1-1 地域文化活動の支援

【施策内容】

文化活動団体の情報の発信、活動の場の拡充、参加交流の機会の拡大などの支援に努めるとともに、団体が継続的に活動を続けることができるよう指導者や継承者の育成に努めます。

3-3-1-2 発表・鑑賞機会の拡充

【施策内容】

文化活動のすそ野を広げるため、学校における文化講演会や芸術鑑賞会等を通じて芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化祭や公民館まつりなどにおいて日ごろの文化活動の成果を発表する機会を町民との協働により開催します。

3-3-2 文化の継承と保存活用

【現況と課題】

地域資源を生かした文化交流を進め、美しい景観や地域の歴史文化資源を発掘・保存・活用することで、魅力ある町独自の地域形成につなげていく必要があります。

少子高齢化や核家族化により地域コミュニティの形成が希薄になり、世代間の郷土文化の継承が難しくなっており、大きな課題となっています。

そのため地域や文化団体への活動支援などにより、指導者・継承者の育成・確保を図るとともに、学校教育や生涯学習の場など、様々な機会を通じて文化財の価値を再発見し町内に存在する文化資源や郷土文化を継承し、文化活動を振興していくことが求められています。

【施策目標】

地域の歴史・文化資源を再発見・再認識する場や、記録保存した資料の情報提供などを通じて、郷土に対する関心を高め、文化のまちづくりにつなげます。

3-3-2-1 郷土文化の継承

【施策内容】

地域に埋もれた歴史や文化資源の掘り起こしを継続的に行うとともに、活動団体への支援を図ります。また、健康づくりを兼ねた文化財ウォーキング[※]の実施や学校教育との連携による郷土文化に親しめる取組などにより、文化資源の活用や郷土文化の継承を図ります。

3-3-2-2 文化財の保存

【施策内容】

郷土資料館の収蔵物調査・研究・整理に努め、資料館の公開を通じて町の文化財の価値を広めるとともに、収蔵物の新たな公開手段や歴史資源の活用方法についても検討します。

また、町内に存在する古文書など歴史資料の整理・解読や適切な保存を図り、郷土文化の歴史財産として後世へ継承するために引き続き町史編纂[※]を図ります。

※文化財ウォーキング：町指定文化財や遺跡などを見学しながら町内を歩いて回る事業。

※^{へんさん}編纂：様々な材料を集め、書物の内容をまとめること。